

## 2019年度 第12回 国家資格キャリアコンサルタント試験

### (キャリア協) 実技試験(論述) 解答例(中里)

※今回のテーマは「キャリアビジョン」についてですね。学費を稼ぐためのホテルでのアルバイトが、本当に相談者自身が将来就きたかった(なりたかった)仕事と一致しているのかどうかを明確にすることがコンサルティングの目標になります。

**【設問1】** 逐語の空欄Aで、キャリアコンサルタントとしてあなたならCL1の発言を受け、どのような応答をするか記述せよ。(10点)

「学費を稼ぐためのホテルでのアルバイト先から卒業後の正社員雇用の内々定をもらっているが、このままホテルに就職していいのか悩んでいるのですね。そのホテルは職場としてどうお感じになっているのですか。」

**【設問2】** キャリアコンサルタントとして、あなたが考える相談者の「問題」を記述せよ。(10点)

「大学卒業後にやりたいと考えていた仕事や自身の興味関心、適性などについて検討せず、就活に時間を取られずにアルバイトで学費を稼げるという短絡的な理由から、将来の就職先を決めてしまおうとしているように、自身のキャリアビジョンが明確にされていないこと。また、就職活動において、他の職種などについて調べたり、ホテル業界についても仕事内容を確認することなく、仕事理解や相談不足であること。」

**【設問3】** この事例の展開に関し、以下の問いに答えよ。(30点)

**(1)** Zさんに対しどのような提案を行うか。逐語の空欄Bに入る、あなたが考える提案の要点を2つ記述せよ。

- ① 「「VPI 職業興味検査」や「キャリア・インサイト」などを利用して自身の職業興味や適正」
- ② 「ホテルでの仕事内容について、また、ホテル以外の業種とその仕事内容について」

※「職業興味関心検査」と「職業適性検査や性格検査」を①と②に分けてもいいかもしれませんが、それは単純すぎるのではないかと思います、提案の要点を全く別方向からのアプローチに設定しました。

①は「自己理解不足」の観点から。②は「仕事理解不足」の観点から。

(2) 設問 3 (1) で解答した 2 つのうちいずれかを選択して、キャリアコンサルタントとしてあなたはこの面談で、この後どのような働きかけを行うか、具体的に記述せよ。

① のケース

自身の学費を稼ぎながら勉学に励んできたことや、アルバイト先での働きぶりが認められ内々定をもらうなどの姿勢を支持する。その上で、このままホテルに就職していいのかどうかの迷いを少しでも解消するために、大学のキャリアセンターで「職業興味検査」「職業適性検査」などが受けられるか確認し、可能であれば受検し、その結果をもとに自身に合った職業について相談をしてみるよう勧める。また、現在内々定をもらっているホテルの仕事についても、ホテル内での仕事の中で自身の適正にあった部署などがあるのか調べてみて、有るようであればホテルの上司に雇用条件や仕事内容について確認してみるよう促す。無いようであればこれからの就活についてキャリアセンターに相談をするなど、納得できる就職ができるよう支援していく。